

年次支部ニュース

第3号

特集

卒業おめでとう！



中央大学多摩キャンパスの桜

上：白門祭 下：ホームカミングデー
(学員白門祭)

全卒業生の交流ネットワーク 学員会へようこそ

中央大学学員会会長
久野修慈



2015年 ご卒業まことにおめでとうございます。

今年、卒業された皆さんは、社会人として、或いは大学院等に進まれる方もいるでしょう。どちらに進んでも中央大学の卒業生として学員(同窓)となるわけです。中央大学学員会は、全卒業生で構成されている団体です。学員会の目的は、母校中央大学への支援と学員間の親睦交流にあります。その構成は、各卒業年度で構成する年次支部があり、各支部を横断的に交流する年次支部協

議会が幅広く活動しています。また、全国の都道府県に地域の支部、職業区分では、職域支部があります。卒業生は、これらの希望する支部を選んで入会できます。そして、交流のネットワークの下にゆるぎない絆となり、終世交流を図れるでしょう。

日本の少子高齢化の下で、大学に入学する学生も減少し、大学経営も厳しい状況にあります。伝統ある中央大学を我々学員会が大学と一体となり支援しようではありませんか。また、社会で孤立化防止にも結び付

く意義のある活動団体です。既に学員となっている先輩は、引き続き学員のネットワークの拡大にご尽力をいただくと同時に、卒業生の支援もよろしくお願いいたします。

卒業生の皆さん、健康で気概のある若者となって企業、地域社会、学校などの期待に応えられるよう率先して頑張ってください。学員会一同、皆さんが各支部に入会されることを心待ちにしています。どの支部からも歓迎されるでしょう。

同窓の輪を 広げよう！

中央大学では卒業生を会員と呼び、2015年には創立130周年を迎える54万人の同窓会です。学員会支部には約230支部があり、地域115支部（国内・海外に居住・在勤する学員組織）、職域54支部（職種・企業・出身サークルなどの組織）、年次63支部（その年に卒業した年次の組織）で構成されています。様々な分野で活躍している54万人のネットワークを繋ぎ、皆さんが交流・発信する場を提供しています。

学員会とは？

どんなサービスや支援があるの？

学員へのサービス

- ▶ 学員時報、ホームページ等による情報発信
- ▶ 学員交流の場所の提供（東京白門サロン・駿河台記念館7F
大阪白門サロン・阪急グランドビル19F眺望最高）
- ▶ ホームカミングデー（大学主催）への協力
- ▶ 学術・文化講演会の開催
- ▶ 学員カードによる図書館利用、契約ホテルの優待価格利用、施設の割引、オープンカレッジ受講など特典多数

学員支部への支援

- ▶ 活動支援金の交付
- ▶ 支部役員会開催の為に会議室提供
- ▶ 会員増強の為に情報提供

この他にも母校中央大学への資金協力及び在学生への奨学援助、進路相談会、学術文化・スポーツにおける優秀学生表彰などを行っています。

問い合わせ先

《中央大学学員会本部事務局（本会の運営及び事務処理）》

〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台3-11-5 駿河台記念館7F
TEL：03-3219-6175 / <http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/gakuinkai>

祝

卒業生全員に、学員会から卒業を記念して「卒業記念MugCup」が贈呈された。

-学員間の絆が広がり、学員間の親睦を記念して-



新規会員の参加を歓迎します!!

各年次支部は、同期会の集まりで大学、学員会会員との繋がりで活動しています。

- ▶ スポーツ応援「陸上・水泳・野球・ラグビー他」（箱根駅伝の応援、東都大学野球応援、オリンピック選手などの応援ほか）
各年次支部の活動…好みの活動に任意に参加ができます。
- ▶ 会員間のビジネス交流で人脈の拡大、更に先輩・後輩との繋がりを醸成
- ▶ 趣味の一致で、幅広い交流とコミュニケーションの充実
- ▶ 同期生の各職専門家との交流で、信頼感をもって問題解決への導きを図る
- ▶ 講演会、セミナーなどへの参画により自身の教養などを向上させる

《加入などの問い合わせ》学員会事務局：03-3219-6175

2015白門会新規会員募集

2015新支部設立実行委員長

分部ゆかり



この度は新年次支部「2015白門会」の設立にあたり、学員会をはじめとする様々な年次の先輩方、大学関係者の方々にご協力を頂きました。誠にありがとうございます。

本パーティーは「新卒業生の門出」を祝い、つながりの輪を広げる事が目的です。大学の為、在学生の為に活動できる支部として多くの卒業生が協力できる環境を整える一歩としてまいります。

そして10月のホームカミングデーには、支部の結成式を行います。

社会人となり、支部の活動のスタートです。同期生や先輩方と交流を取る事で、支部の活動活性化に繋がっていきたく思います。その為多くの卒業生にご参加いただきたいと思っております。

私達の活動が、来年以降の後輩たちに示せる見本となるよう、私たち卒業生は支部としても、社会人としても努力して参りたいと思っております。

《新支部結成予定》

3月24日 卒業記念船上パーティー
10月25日 ホームカミングデーで設立

年次支部 協議会とは?



年次支部協議会の皆さん

学会の中に、年次支部は現在、白門26会～白連会2014年支部まで63支部あり、それぞれ活発に活動の輪を広げています。年次支部協議会はそんな老・壮・若の全卒業生年次の各年代を繋ぐ組織です。情報交

換、交流をしながら白門の絆を大切にして学員の親睦、母校の興隆と発展に貢献しています。

近年は卒業生全体が参加する年次支部の設立により、年次支部は学会最大の組織になりました。時代の変化に伴い、年次支部協議会の運営

も変わり、若手年次との連携・協力も不可欠なものとなっています。

新しい制度では、学員交流委員会、IT推進委員会、学生支援委員会、大学支援委員会、スポーツ応援委員会等を設置し、活性化を図っています。

是非、誰でもが参加資格のある年次支部の活動にご参加下さり新しいネットワークを作りにご協力下さい。宜しくお願い申し上げます。

今回は、大学支援委員会の取組をご紹介します。

年次支部協議会執行部役員表

役職	担当	氏名	卒年	役職	氏名	卒年	役職	氏名	卒年
代表幹事		松木茂夫	S44	事務局 長	山城博光	S45	学員交流委員長	権守隆男	S53
副代表幹事	総括・大学支援	堀合辰夫	S30	事務局 次長	野田明利	S53	学員交流副委員長	佐藤愛子	S48
副代表幹事	総括・大学支援	青山和夫	S33	事務局 次長	山本卓	H2	IT推進委員長	小川学	H元
副代表幹事	事務局	小竹正倫	S39	広報部 長	佐藤愛子	S48	学生支援委員長	秋山豊	H21
副代表幹事	学生支援	佐々木幸男	S40	広報副部長	小暮睦美	S58	学生支援副委員長	久保良太	H11
副代表幹事	学生支援	鈴木康二	S42	会計監事	平岩弘邦	S45	大学支援委員長	小田真一	S48
副代表幹事	広報・事務局	佐藤愛子	S48	会計監査	才野智裕	S46	スポーツ応援委員長	高橋丈雄	S39
副代表幹事	学員交流・事務局	山井俊昭	S50	顧問	柳田晋次	S39			
副代表幹事	ホームカミング	掛水省三	S54	顧問	正野建樹	S43			
副代表幹事	学員交流	乗兼浩明	S57	顧問	室勝弘	S45			
副代表幹事	IT推進	小川学	H元	顧問	増田晃次郎	S46			
				顧問	小田真一	S48			

大学支援委員会の事業について (ご紹介)

大学支援委員会
委員長 小田真一 (S48卒)

年次支部協議会「大学支援委員会」を紹介します。委員会の目的や事業内容は次のとおりです。

(1) 中央大学ブランドの向上、強化に寄与する

箱根駅伝を中心とした学生スポーツの支援を行い、中央大学の学生や出身者が多数、2020年の東京オリンピックに出場できるよう支援を行うことを目指しています。

また、年次支部会報で、あらゆる分野で活躍する白門人(学員、学生、先生等)を紹介していく予定です。このような活動を行うことで、中央大学ブランドの向上に寄与していきたいと思っています。

昨年10月のホームカミングデー

で激励募金を行い、駅伝チームにりんご800個を贈りました。また、箱根の大平台に地主様のご了解をいただき、12月中旬から「闘魂たぎる火と燃えよ!」の横断幕を設置させていただきました。毎年正月2日、3日には学員、大学関係者を中心に30人余で、箱根駅伝に出場の全大学にエールを送っています。

(2) 大学のグローバル化推進を支援する

留学生と日本人学生が、それぞれの国の文化をお互いに理解し自然に交流できるよう「お祭り」や「コンサート」等のイベントを企画し、いつでも楽しく交流できるような仕組みづくりのバックアップを行っていく予定です。

(3) 学生と企業との連携を強化する

大学と企業との連携により産学協同を行うべく仕組みを検討中です。まだ、計画段階ですが、このような活動により学生の豊かな発想を企業に生かすとともに、学生にとっては、実践教育の場になると確信しています。中央大学出身者関連企業や地元の企業や商店街と連携し、地域の活性化やシャッター通り防止等の具体的な検討に着手する予定です。また、理工学部の得意分野(例えば水質浄化やみみずロボット等)について、専門企業との共同研究等を支援したいと思います。

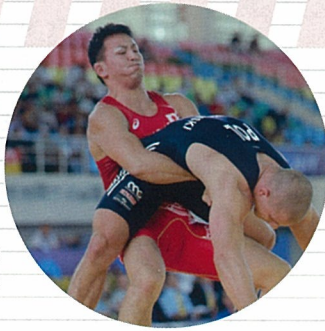
これらの活動は、「実学」の中央大学の目差す方向を更に進化させるものと思います。

これからも、是非皆さまのご協力やご意見を頂戴したいと思います。よろしく願います。

若手学員の紹介

我、事において後悔せず 今しかできないことを

中央大学経済学部職員
天野 雅之 (H23年卒)
(レスリング世界選手権第8位)



現在、中央大学経済学部事務室で勤務をさせていただいております、天野雅之(あまの まさゆき)と申します。まずは、この場をお借りしまして、日々皆様の多くの支え、応援のおかげで活動ができておりますこと、心より御礼申し上げます。また、今後とも温かい応援をいただければ幸いです。

昨年は日本代表として世界選手権に出場し、8位となることができました。挑戦者という気持ちを持って、「失敗してでも積極的に挑戦する」と決めておりました。チャンスはいつ舞い込んでくるかわからないものです。だからこそ、このチャンスをわらにもすすがる思いで貪欲に求めたことが、このような結果になったのではないかと思います。

2012年夏に「ロンドンオリンピック」が開催されました。その時、一緒に汗を流したメンバーがオリンピックのマットの上で試合をしている中、私はテレビの前でオリンピックを見ることとなりました。オリンピック出場は、世界予選、大陸予選等を勝ち抜かなければ出場することができません。日本代表として予選

に臨みましたが、実力不足でオリンピックへの切符をつかみ取ることができませんでした。その時足りなかったもの、それは、自分の実力不足はもちろんのことですが、「挑戦すること」だったと今では思っています。「あの時のあの瞬間に躊躇せず、攻撃を仕掛けていけば…」という後悔。負けた時のことが何度フラッシュバックしたのか。帰国後は代表になれなかった自分への立ちとともに、喪失感が私を包み、正直のところ現役引退を考えました。

しかし、そこで私を奮い立たせてくれたもの。それは友人、同僚、家族などの周りの支えの存在でした。応援してくださっている人への恩返しはどうしたらいいか。そこで考え、出した答えは、自分が一生懸命に頑張っている姿を見てもらい、応援してくれる人へ勇気や感動を伝えることだと思いました。それが自分の励ましとなりました。

それを目標としたときに、落ち込んでいる自分が情けないと感じ、また一から努力することを決意しました。そしてスタートを切った際に職場の上司にある言葉をいただきまし

た。宮本武蔵の「我、事において後悔せず」でした。レスリングを第一線の現役でやるのは「今しかできないこと」だから、後悔なくやろうと。

学生の皆さんには、挑戦する気持ちを忘れないでほしい、そして、人との出会いを大切にしてほしいと思います。大学生活は長いようで短いです。後悔することなく、何事にも積極的に行動し、経験し、チャンスを掴み、夢や目標を叶えていただければと思っています。なにか失敗しても、そこには、自分なりの反省と課題ができます。そして、次の目標に向けてその反省と課題を解決していく。それが次への一歩です。今しかできないことを一生懸命に努力し、努力で夢を目標に変え、努力で目標を達成してほしいです。なにか一生懸命になれるということは、そこに感動が生まれます。そうすることがいつしか自分自身の成長へと繋がっていくような気がします。

私も日々努力を惜みず、仕事を頑張り、自分ができるまで競技を頑張り、いつしか夢の舞台に立てるよう、また、引退後は教え子たちを夢の舞台へ送れるよう。そして、中央大学のさらなる発展に貢献できるよう頑張っています。今後とも学生とご父母と学员と中央大学に関係しております皆様へ、少しでも感動を届けることができるように精進してまいります。

■ 中央大学著名人シリーズ《実業界編》

浅田和則 (キャノンITソリューションズ株式会社代表取締役社長) / 足立直樹 (凸版印刷代表取締役会長) / 新井良亮 (株式会社ルミネ代表取締役社長) / 一力敦彦 (東北放送株式会社代表取締役社長) / 井上亮 (オリックス株式会社取締役兼代表執行役社長・グループCOO) / 今村将也

(東洋水産社長) / 上西京一郎 (オリエンタルランド代表取締役社長(兼COO)) / 江連三芳 (ハウスメイトグループ代表、ハウスメイトパートナーズインメント代表取締役コーポレート・エグゼクティブCEO、日本レコード協会会長) / 木村清 (すしざんまいチェーン喜代村社長) /

久代信次 (株式会社東京ドーム代表取締役社長兼執行役員) / 熊坂隆光 (産経新聞社代表取締役社長) / 三枝紀生 (京成電鉄代表取締役社長) / 斉藤正明 (ビクターエンタテインメント株式会社代表取締役社長) / 鹿谷史朗 (株式会社ダイヤモンド社代表取締役社長) / 柴田一 (株式会

箱根駅伝の総括 後輩に贈る言葉

2015年3月卒業
中央大学陸上競技部 駅伝主将
永井秀篤



皆さま、第91回箱根駅伝の応援ありがとうございました。結果的には、総合成績は19位となってしまい、皆さまの期待に応えることができませんでした。

しかしすべてが悪かったわけではありません。自分の力を100%発揮した者、経験を活かし好走した者、苦戦しながらも健闘した者等、どの選手も練習の成果を発揮しようと必死に走りましたし、中央大学はがんばっているという事を皆さまにお伝えできたものと思います。また、後輩たちにとっては、箱根駅伝の厳し

さや難しさを経験したことが、それぞれ次の大きな成長につながっていくものと思います。後輩のみんなには、「自分達はやればできる」と固く心に誓って、われわれができなかった勝利を、是非実現してほしいと願っています。いつも前を向いて堂々と挑戦してください。

私は、箱根駅伝で絶対勝利するという意識を選手全員が強く持つことこそが、優勝に繋がると 생각합니다。そして、チーム全体がその目標に向かって無我夢中で突き進んで行くことで、目標は必ず達成できます。そ

れをチーム全体で取り組むことこそがチーム力であり、試合当日に勝負を決める要因の1つとなります。そのために最大の努力をしたということは、その時は結果に恵まれなくても、努力した者の成長に必ず繋がります。

後輩達の前にはこれからも数多くの試練が待っています。それらを1つずつ乗り越えていながら競技者として、また人間として大きく成長して欲しいと願っています。

そして、それを実現できるのが中央大学の環境であり伝統です。

私自身も後輩に贈る言葉を自身に言い聞かせ、日々努力していくことが大学へ恩返しができる道だと考えています。伝統の襷を後輩に繋ぎ、中央大学の更なる飛躍を願っています。

文武両道 若手OB、在校生頑張る!

司法試験 公認会計士
難関国家試験をクリア、
スポーツでも輝く2人

プロボクシング 箱根駅伝

1月18日付読売新聞広告欄に掲載された記事です。
スポーツと学業を両立させた在校生、卒業生の活躍が紹介されています。

梁瀬峰史(やなせ・たかふみ)さん。2013年中央大学法科大学院修了。司法試験に合格し、現在司法研修所で研修を受けています。箱根駅伝のランナーとして5区の上山を経験しています。

高木千愛(たかぎ・ちあき)さん。中央大学商学部会計学科3年生。2年生で超難関国家試験の公認会計士に合格する一方、異色の女子ボクサーとしてプロデビューを果たしました。

社卑弥呼代表取締役会長兼社長) / 白川真 (大和証券投資信託株式会社代表取締役社長) / 進藤中 (山梨中央銀行頭取) / 末松修 (福岡中央銀行頭取) / 菅原秀夫 (首都高速道路

会社代表取締役社長) / 鈴木修 (スズキ株式会社社長兼社長) / 鈴木敏文 (株式会社セブン&アイ・ホールディングス代表取締役会長最高経営責任者、CEO) / 多田憲之 (東映社

長) / 永井浩二 (野村証券株式会社代表取締役社長、CEO) / 並木富士雄 (第四銀行取締役頭取) / 成毛眞 (HONZ代表) / 成瀬直人 (株式会社いなげや社長) / 野口実 (株式会



白門55会の皆さん

学員だより

幸せなめぐりあい

白門63会幹事長 松尾あずさ

私の学員会加入は、10余年前の多摩支部結成時です。多摩支部は、和気藹々としており、楽しい時間を過ごさせて頂いております。この経験を端緒に、私はより多くの方々と繋がる機会を得ました。以下はその体験談です。

多摩支部参加の数年後、学員会より年次支部結成のための発起人募集案内が届きました。発起人としてアグレッシブな面々が集まり、紅一点の私は、「男女共同参画」として幹事長を拝命しました。支部結成過程では多摩支部の先輩から助言を頂きました。

白門63会支部は2012年に公認されました。私たちの世代は、仕事、子育て真っ盛りのため、支部の活動実施は困難です。私たちが「繋がる」ツールはHP、Facebook等です。会長の梅澤氏が当会発足当初から今日までHPやFacebookを運営しております。会員同士は、「FB友達」として日々交流しており、親近感も湧き、親密度も上がっています。本支部が駅伝応援などを致せるのはまだ先ですが、その時まで会員同士繋がっていたいと思います。

私の学員の方との交流は、年次支部協議会への参加によりさらに広がりました。懇親会の折、先輩に「某県へ調査に行く」とお伝えしましたら、当該の県で勤務経験がある先輩が同県支部の先輩に連絡してください、お蔭様で私の目的は無事果たさ

れました。私は、支部や年次支部協議会への参加により幸せなめぐりあいを経験できました。とても感謝しております。

学員唯一の女性支部

女性白門会会長 植野妙実子

女性白門会は、中央大学学員会の中で唯一の女性支部です。1968年、白門婦人会という名称でスタートし、1969年に学員会支部として正式に認められました。

その後、多様な活動を行ってききましたが、特に女子学生のキャリア・就職支援に力を入れています。進路・就職支援の会は、1995年「つばさの会」として発足し、1999年「ウイングの会」に改称され、今年度は、2014年12月6日多摩キャンパス3355号教室で、「女性のキャリア・仕事を見据えた企業選択とは? —就職四季報女子版を使って」という演題での講演会と、4名の内定女子学生による「内定女子学生が後輩に本音で語る—就活の実際」というテーマでパネルディスカッションを行いました。4時間という長丁場の企画でしたが、136名の参加があり、会場は熱気に溢れていました。

その他にも、1年間をとおして、講演会や勉強会の実施、総会・懇親会と併せてミニコンサートを行ったり、オペラや歌舞伎鑑賞会などを企画し、会員相互の親睦を図ったり、異業種交流を行うなど活発な活動を展開しています。

白門55会と南甲倶楽部

白門55会会長 川島正博

「白門55会」は活動として総会、新年会をはじめゴルフコンペ、中大スポーツ応援(硬式野球、バレー、バスケ、ボート、駅伝等)、暑気払い、ボウリング、会員地元企画(いわきあんこうどぶ汁鍋&ゴルフ等)など、現在企画が自然発生的に増え続けております。皆、働き盛りで多忙を極める人ばかりのため役員会等会議はほとんどせず、メール等であり取りをしながらか開催するイベントの席上で1、2ヶ月~1年先のイベントの企画・参加集約をその場でしてまいります。おかげさまで新しいメンバーも紹介等で増えております。

また、「中央大学南甲倶楽部」(中大出身の経済人による交流会・会員数約950名)においては、昨年7月より会員交流委員会委員長を仰せつかり、にげつ会(メンバーの誕生日会)、ビアパーティ、忘年会、観劇会等親睦イベントを担当しております。

おかげさまで委員会メンバー(昭和31年卒の大先輩から平成22年法科大卒後輩まで総勢29名)が意気を感じて会を盛り上げています。55会に加えて南甲倶楽部にかかわることでネットワークが格段に広がったことを日々実感しております。

〈お願い〉年次支部の皆さま55年の同期の方を是非ご紹介ください。

【連絡先】080-1074-2559

エービーシー・マート代表取締役社長) / 野島廣司(株式会社ノジマ代表取締役社長) / 野中正人(株式会社しまむら代表取締役社長) / 馬場伸行(コニカミノルタNC株式会社

代表取締役社長) / 早河洋(テレビ朝日ホールディングス代表取締役会長兼CEO) / 深井崇史(株式会社大和総研ホールディングス代表取締役社長) / 冨木田道臣(株式会社エフ

エム東京代表取締役会長) / 福井正一(フジッコ株式会社代表取締役社長) / 二宮雅也(日本興亜損害保険株式会社取締役社長) / 松谷孝征(株式会社手塚プロダクション代表取

ホームカミングデー報告



運営委員として見た ホームカミングデー

学員会年次支部副代表幹事
(ホームカミングデー担当)
白門54会 掛水省三

まず、第23回ホームカミングデーが晴天に恵まれ、皆様のご協力のおかげで事故もなく盛大に開催できましたことを感謝いたします。「ホームカミングデー」は学員の皆様方が大学時代の思い出を振り返り、旧交を温め、また世代を超えた幅広い交流を深める場として平成2年に始まりました。今年で第24回目を迎えます。白門学員祭とも呼ばれ、中央大学卒業生の年に1度の祭典となっております。

毎回全国から大勢の学員の皆様か

中央大学多摩キャンパスに集まり、クレセントホールでの開会式を皮切りに、ペディストリアンデッキ上のセントラルプラザの福引抽選会まで、中央大学卒業生また在学生による各種企画・イベントが催され、皆様から好評を頂いております。

中央大学ホームカミングデーは毎年10月の第4日曜日に開催されるのが通例となっています。開催に当たり、およそ月1回の割合で大学・学員会から16名の運営委員と4名の事務局職員が中央大学駿河台記念館に集まり、ホームカミングデーの実施計画を検討いたします。皆様方に喜んでいただけるよう魅力ある企画を考え、実施することを目指しており

ます。また安全で事故のないように細部に亘って考えています。

ただこの数年、参加者が減少傾向にあるのが気がかりです。マナーを避け、さらに魅力ある企画を考えて神田駿河台世代は勿論、多摩キャンパス卒業の方々の参加をもっと増やす工夫をしていかなければなりません。また昨年はお子さんやお孫さん連れの学員が多く参加してくれました。小さなお子さんから小・中・高校生にも楽しんでもらえる企画も考える必要があります。

最後に、ホームカミングデーが学員の皆様方にとりまして白門の絆をより一層深める場となり、中央大学がますます発展していく契機になりますように祈っております。

りんごの試食・販売会を実施

白門りんごの会副会長 藤原 薫
(S44卒)

平成26年8月4日(月)・5日(日)
一泊二日で青森ねぶた祭り観覧と第二回収穫体験ツアー(参加者26名)を実施しました。

10月26日(日)第23回ホームカミングデーにおいて(前年は台風の影響で中止)「さんのへりんごの」PRを兼ねた試食・即売会を実施しました。三戸町からは農林課課長補佐高屋敷達夫氏・梅内りんご組合長船場敏氏他4名が来校。前日の25日(土)には白門44会馬場支部長の知り合いの小料理屋で前夜祭を開催し、白門りんごの会メンバー20名と楽しい親睦会が実施されました。翌日、会場には早目の8:30には全員集合し



集合会場のテント前で白門44・45会会員20余名全員がハッピーを着て、即売の準備からりんごの販売実施。特に際立ったのは44会藤岡秀武氏のりんごカッター持参の出張販売のパフォーマンスの影響もあり、予定個数りんご700個・りんごジュース・トマトジュース等持参した商品は、お昼までに瞬く間にホームカミングデー出店者の中で一番早い完売となった。高村りんごの会副会長の手締めめでめでたくお開きとなりました。船場組合長様一行は身も心も軽くなり大喜びで帰路に着きました。翌日三戸町竹原町長から御礼の電話

があり大成功の内に目的を達成できた。三戸町出身者として、地元行政・生産者・白門りんごの会の三者皆様に喜んでいただいた事に感謝申し上げます次第です。

白門りんごの会(会長 松木茂夫)会員数84名は東北復興支援・地方創生としての町おこしを目的に町役場・りんご組合・白門りんごの会」の三者のオリジナルナなりんごオーナー制度として、りんご収穫体験旅行を兼ねて(一回目/十和田湖と奥入瀬渓流を訪ねて・二回目/青森ねぶた祭り棧敷観覧)生産者の方々とパーベキュー交流そして地元白門会との交流により絆と輪を創生する。エンジョイしながら交流の為に通うこの距離感が、現代版参勤交代ともいえるのではないのでしょうか。

締役) / 御手洗富士夫(キャノン株式会社代表取締役会長兼社長CEO、元経団連会長) / 三井正則(ダイハツ工業株式会社取締役副社長) / 茂木哲哉(文化シャッター株式会社代

表取締役社長執行役員社長) / 桃井克志(コマツNTC株式会社代表取締役社長) / 森田仁基(mixi社長) / 矢内廣(びあ株式会社代表取締役社長) / 矢野博丈(株式会社大創産業代表

取締役社長) / 横内達治(株式会社ライトオン代表取締役) / 米山勉(ヨネックス株式会社代表取締役社長) / 渡邊健二(日本通運株式会社代表取締役社長)

お知らせ

◆2014年度(第132回)中央大学卒業式・大学院修士学位授与式(文系)

日程：2015年3月25日(水)

【午前の部】法学部(通信教育課程含む)、文学部

【午後の部】経済学部、商学部、総合政策学部、大学院6研究科修士課程

場所：多摩キャンパス 第1体育館 3階アリーナ

◆2014年度(第132回)中央大学卒業式・大学院修士学位授与式(理工)

日程：2015年3月24日(火)

場所：後楽園キャンパス5号館4階アリーナ

◆2015年度中央大学入学式(文系・大学院)

日程：2015年4月2日(木)

【午前の部】経済学部、商学部、総合政策学部、大学院6研究科

【午後の部】法学部、文学部

場所：多摩キャンパス 第1体育館 3階アリーナ

◆2015年度中央大学入学式(理工学部・研究科)

日程：2015年4月3日(金)

場所：後楽園キャンパス5号館4階アリーナ

特別企画

卒業式で花は咲く(NHKの復興ソング)を皆さんで歌いましょう!!

2011年4月、今年の卒業生の多くは入学式を行うことが出来ず、入学式のないまま学生生活をスタートしました。今年は中央大学から卒業生の皆さんへのプレゼントとして特別企画を行います。式典参列者全員で次世代、復興を担う人材として社会に羽ばたく皆さんへ中央大学から歌による応援メッセージです。

報 告

◆バドミントン部 全日本学生バドミントン選手権大会優勝 23年ぶり(12・6)

◆バレー部 全日本バレーボール大学男子選手権大会優勝 18年ぶり

◆プロ野球ドラフト会議 福田外野手 楽天3位、鳥袋投手 ソフトバンク5位指名

◆音楽研究会吹奏楽部 第38回東京都アンサンブルコンテスト(大学の部)で金賞受賞 全日本大会へ

◆平成26年度公認会計士試験 本学合格者87名(前年比7名増加) 経理研究所受講者 1年生合格1名、2年生合格4名をはじめとする現役合格者35名輩出

◆平成26年 司法試験(短答式試験)の結果、本学法科大学院から全国最多の382名合格。

◆国家公務員採用総合職試験合格48名(出身大学別11位)

中大ラグビーファンOBの集い開催(2015.2.24)



今年は20名でしたが、毎年2月中大ラグビー部選手を激励する会を様々な年次の熱烈なラグビー好きのOBが集まり開催しています。

最近、練習はもとより基本的な寮生活を見直すなどの取組で意識が変化してきているそうです。頼もしい大きな身体と強い精神力で、厳しい練習に耐え、熱い先輩の期待にぜひ応えてください。

編集後記

▶今春ご卒業の皆さま、卒業おめでとうございます。4年前の東北大震災直後の不幸な状況において、入学式を経験出来ず学生生活を始められた皆さんにとって、この4年間は特

別な想いで大学生活を過ごされたことと思います。▶これからの人生で、中央大学同窓生54万人は、大変大きな力であり支えとなります。▶今回の年次ニュース3号は、新企画として新卒業生全員にお届けすること

になり、卒業生に贈る特集内容になりましたが、今後も先輩後輩の絆をより強く繋げて、中央大学の興隆と発展に貢献出来ればと願っております。(広報部長/佐藤愛子 S48卒)

《年次支部ニュース 第3号》 2015年3月20日発行

発行者/中央大学学生会年次支部協議会
発行人/松木 茂夫
編集/年次支部協議会広報部

〒101-8324 東京都千代田区神田駿河台3-11-5 中央大学学生会事務局気付
TEL 03-3219-6175
印刷所/株ディスカバリー